

所属学科：創成科学研究科

氏名：東 裕貴

派遣期間：2019年3月12日～2019年3月20日

派遣先：台湾、台湾師範大学

2019年3月12日～2019年3月20日、台湾の台湾師範大学で行われたスプリングプログラムに参加しました。このプログラムの中で、大学内や周辺の散策、講義の受講、台湾固有の地質、地形の観察を行いました。言語や食文化、そして講義内容において、日本の大学に在籍しているだけでは味わうことのできない経験をすることができました。これらに加えて、比較的、航空機代も安価であり、治安も良いため留学に向いていると感じました。本プログラムを企画し、進行していただいた台湾師範大学の学生、教授、事務局の方々に厚く御礼申し上げます。また関西学院大学の引率であった御厨先生、坪井先生、共にプログラムに参加した関西学院大学の学生の方々に感謝申し上げます。本プログラムの日程およびその概要を以下に示します。

1日目：移動(福岡～台湾)、ウェルカムパーティー

2日目：講義(数学、ビーズアート)

3日目：フィールドワーク、講義(生物)

4日目：観光

5日目：フィールドトリップ (宜蘭、九份)

6日目：フィールドトリップ (台中)

7日目：フィールドトリップ (南投)

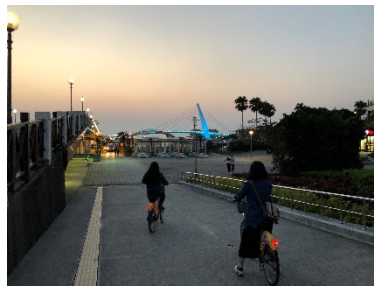
8日目：講義 (インフォメーションセキュリティ)、送別会

9日目：帰国

私自身、専門分野が化学であり生物、地球科学と専門分野外の内容に多く触れることができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。講義の内容についても、ただ教えるだけでなく体験的な活動を加えることにより、理解を深めさせてくれようとしていただきました。慣れない英語の授業でしたが、先生方やNTNUの学生さんの親身な対応のおかげでついていくことができました。下の写真はフィールドトリップの時に撮影したものです。



左は921大震災の地震教育園を訪れた時の写真です。震災があった当時のまま保管されており、地震の凄まじさを感じました。フィールドトリップでは実際にこの地震で作られた断層を観察し、マグニチュードを予測するという観測実験を行いました。真ん中の写真は、石饅づくり体験をした時の写真です。石饅を作るのは初めての体験で、台湾らしいものを作ることができました。作った石饅はお土産として持ち帰り、実際に使用することもできました。右の写真は、宜蘭の海でイルカとクジラを船で見に行ったときに撮影したものです。海は大荒れで船も非常に揺れ、イルカもクジラも見られない、気分も悪くなってしまったというのも今ではいい思い出です。



今回のプログラムは、日本以外の国を知るという上で、非常に魅力的なものでした。毎晩いろいろなところに連れて行ってくれたTAさんありがとうございました。海外渡航に少しでも興味のある方は、ぜひとも挑戦したほうがよいと思います。また渡航先の学生の研究に対する真摯な姿勢、TAとして、私たちに全力を注いでくれる姿勢に非常に感銘を受けました。台湾の方のもてなす力というのは見習っていかなければいけないと感じました。帰国後の自身の研究への向き合い方に良い影響を与えてくれていると感じます。最後にはなりますが、改めまして、今回の遠征に関しまして、お世話になった山口大学関係者の方々、関西学院大学の方々並びに台湾師範大学の方々に心より御礼申し上げます。